

## 「やりたい」思いを引き出し、より主体的に取り組もうとする授業

### 単元名「楽しい冬」 ～冬の遊び～

日時	平成24年 2月17日(金) 2校時		
対象	小学部4年3組	指導形態	生活単元学習
場所	小学部4年3組教室	指導者	笠作・安田

#### 単元における子どもの実態

本学級は肢体不自由と知的障害がある子ども3人が在籍している。これまでの生活単元学習の様子を見てみると、学習活動に意欲をもって楽しく取り組んでいる子どももいれば、周りの友達が気になり活動に対して興味をもちにくい子どももいる。教師に対しては声を掛けたり手を引っ張ったりして自分からかかわろうとするが、友達には、遊びたい気持ちはあってもなかなか自分からかかわろうとする姿は見られなかった。そこで、単元「カミカミランド」やその他の遊びの学習の中で、子ども同士が触れ合えるような場の設定を積極的にしてきた。それによって、子どもが友達とのかかわり方を知ることができ、さらに、その楽しかった経験から、もっと友達とのかかわりたいという気持ちが高まってきつつある。

#### 単元の意義・価値

本単元では「冬の遊び」に焦点を当てて、お正月や節分等にする遊び等を中心に構成されている。福笑いやこま遊びといった伝統的な「お正月の遊び」は、主に一人で好きなことをしたり教師の働き掛けを受け入れ、まねをしたりする等のかかわりがある。また「節分」では、鬼と福という二人でのかかわりを中心とし、福が鬼に豆を投げるといった簡単なルールのある遊びが展開できると思われる。そして、「〇〇をつくろう」や「冬の遊び」では、友達と一緒にルールのある遊びを楽しんだり、簡単な道具を使ってかかわる遊びを楽しんだりすることが考えられる。このように、友達とのかかわりに課題のある子どもたちにとって「やりたい」思いを引き出しつつ、段階的にかかわりの対象を広げていく指導は効果的であると思われる。

#### ねらい

本学級の子どもたちには、友達とのかかわるよりも教師とのかかわる姿が多く見られたり、一人で活動したりすることが多いことから、できるだけ友達と一緒にかかわり合いながら遊ぶことができるようにしたい。また、手先を使っての作業が苦手な子どももいるので、集中して活動に取り組む中で手先を使ってできる作業を少しずつ増やしていきたい。

#### 指導観

「冬の遊び」の内容としては、子どもが自らやってみたい、友達とのかかわりながら遊びたいという意欲をもち、取り組める内容を多く設定したい。さらに、本学級の子どものための課題である「人とのかかわり」の部分に焦点を当てて取り組みたい。具体的には、集団で遊ぶことでより広がりをもたせやすい遊びである、ままごと、すごろく等を行いたい。また、それらの活動において使う材料や道具を制作する活動も取り入れ、手先を使って制作する力の向上、手指機能の向上も目指すことができると思われる。

このように、一緒に制作したり遊んだりすることで、友達同士のやりとりが生まれ、人とのかかわりがもちやすくなる。そして、一人で遊ぶより友達と一緒に遊んだ方が楽しいということを子どもたちに意識させていきたい。

#### 展望

これらの活動を通して、いろいろな場面で「やりたい」という気持ちをもちながら学習を経験する中で、友達と仲良くかかわり合いながら遊んだり、学習したりすることができるようになるのではないかと考える。このような経験を積むことで、いろいろな人に関心をもち、自分から進んでコミュニケーションをとろうとすることができるのではないだろうか。また、普段、家庭等で経験する機会の少ない遊びを通して、いろいろな遊びや物に興味をもち、学校での遊びや家庭での遊びの幅が広がっていくことにより、豊かな生活の基礎をつくることのできるのではないかと考える。

一人一人の実態から

氏名	A児	B児	C児
単元に関する態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心</li> <li>・ブロックや積み木、おもちゃの電話、歌遊び、音楽が好きで、時期によってマイブームがあり、それで遊びたがる。</li> <li>・紙を使って遊ぶことは好きで、紙パックの積み木を積み上げたり倒したり、段ボールハウスに入ったり出たりして、意欲的に遊ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大小のブロックを組み立てて簡単な形の物を作ることが好きである。</li> <li>・音楽が好きで、好きな歌をよく聴いている。</li> <li>・したくないときは「ばーば」と言い、やろうとしないことがある。</li> <li>・紙を使って遊ぶことは好きで、意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の出るおもちゃで音を出して遊んだり、ひもをヒラヒラさせたり、堅い物を歯にコンコン当てたりして遊ぶことが好きである。</li> <li>・音楽が好きでCDラジカセの前に座ってうれしそうに聴いている。</li> <li>・ちぎった紙をすくって舞い散らせて楽しんでいる。</li> </ul>
実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作活動</li> <li>・視覚障害と左手のまひがあるため、手先を使った細かい作業は難しく、教師の支援を必要とするが、活動には集中して取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作活動には意欲的で、紙をちぎる、シールを貼る等の簡単な作業は、教師の手本を見ながら、大体一人ですることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作は一人では難しく支援を必要とする。</li> <li>・いすに座って時間いっぱい取り組むことは難しいが、大好きなB児が目の前にいると、ある程度の時間座っていることができる。</li> </ul>
キャリア教育の視点から	<ul style="list-style-type: none"> <li>人とのかわり</li> <li>・友達と遊ぶのが好きで、教師と遊んでいても、「〇〇さんと遊びたい。」と教師に伝えるが自分から呼び掛けることは少ない。</li> <li>・友達と好きな遊びをしたがるが、相手の気持ちを考えず、自分がしたい遊びを一緒にしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や教師がしていることを見て、楽しそうだったら近付いてくる。</li> <li>・自分が作った物や自分に関連した物を「せんせー」と言ってうれしそうに教師に見せる。</li> <li>・自分から友達にかかわろうとすることはほとんどない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴いたり好きな物を手に持ったりして、一人遊びをしていることが多い。</li> <li>・B児のことが大好きで、近寄っていき、うれしそうに顔を近づけたり手を伸ばして触れようとしたりすることがある。</li> </ul>
健康の保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思表出</li> <li>・自分の思いを二語文で話すことができる。</li> <li>・友達と一緒に遊びたいとき、「〇〇さんと一緒にしたいの」と教師に伝えるだけで自分から積極的に誘うことはほとんどない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親に「ママ」、教師に「せんせー」と呼ぶことができる。</li> <li>・教師にはしたいことを身振りで伝えることができる。</li> <li>・教師に向かって「うーあ(歌)」と言い、歌を聴きたいことを伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発語はないが、たまに「あああ」と呼び掛けるような様子も見られる。</li> <li>・してほしいことがあると、教師の手をとり、その場所まで連れていき、要求することができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の保持</li> <li>・視覚障害があり、焦点が合いにくい。</li> <li>・発作の服薬のために、朝起きられずに休むことが週に1～2回ある。</li> <li>・今年度の5月くらいから、がくつと頭が落ちる発作が見られるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症にかかると喘息発作を起こしやすい。</li> <li>・てんかんをもっており、今年度からけいれん発作を起こすことが多くなってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かぜをひきやすいが、4年生では欠席は少なく、大きく体調を崩すことはほとんどない。</li> </ul>

## 指導目標

### 全体目標

全体目標	キャリア教育の視点からの能力領域
・ 冬の遊びに関心を持ち、教師や友達と一緒にかかわり合いながら楽しく遊ぶことができる。	I-1, 3, 4 II-1, 2

### 個人目標

氏名	個人目標	指導の手立て
A	○ 友達と積極的にかかわりながら遊ぶことができる。	○ 友達へ話し掛けて遊びに誘うよう言葉掛けを行う。
B	○ 自分から友達にかかわりながら遊ぶことができる。	○ 友達と一緒にしてみようかと働き掛けるようにする。
C	○ 友達のしていることに興味を持ち、一緒に活動することで遊びを楽しむことができる。	○ 一緒に楽しく遊んでみせて、自分も遊びたいという意欲を引き出す。

## 指導計画

次	主な学習活動	時間	資料・準備
一	○ お正月の遊びをしよう ・ 福笑い ・ こま遊び	4	福笑い, こま
二	○ 豆まきをしよう	5	鬼の面, 豆, 箱
三	○ ●●をつくろう ・ ホットケーキ ・ おにぎり	4	ホットケーキミックス, 米, 炊飯器
四	○ 冬の遊びをしよう ・ ままごとをする。 ・ 紙でおにぎりを作る。 ・ 作った紙おにぎりを使ってままごとをする。 ・ 紙おにぎりをもって校内ピクニックをする。	3 (本時 2/3)	いろいろな素材の紙 紙皿 箱 テーブル
	・ すごろくをする。	3	すごろく, サイコロ

## 本時の学習

### 1 目標

#### (1) 全体目標

- ・ ままごとをする中で、友達や教師とかかわり合いながら楽しく遊ぶことができる。

#### (2) 個人目標

氏名	個人目標	指導の手立て
A	○ 自分から積極的に友達に話し掛けたり、紙おにぎりを渡したりして楽しく遊ぶことができる。	○ 「友達に渡して」、「友達に言ってみて」等の言葉掛けをして、自分から友達に積極的にかかわりながら遊べるようにする。
B	○ 友達に紙おにぎりを渡したり受け取ったりして楽しく遊ぶことができる。	○ 「友達に渡して」「友達からもらって」等の言葉掛けをして、自分から友達とかかわりながら遊べるようにする。
C	○ 自分から友達のところへ近づいてきて、教師と一緒にままごとに参加することができる。	○ 本児の好きな言い方をしたり、豊かな表情をしたりして、楽しく遊んでいる様子を見せるようにする。

## 2 指導に当たって

前時では、前次で作ったおにぎりを思い出し、紙を使っておにぎりをみんなで一緒に作り、食べるまねをして遊んだ。紙の感触を味わいながら楽しそうに作ってはいたが、子ども同士がかかわり合いながら遊ぶ様子はあまり見られなかった。

そこで本時では、紙を使っておにぎりをみんなで一緒に作り、それを使ってやりとりをするまごとをしたい。実際に作ったおにぎりを紙で作ることは子どもたちがイメージをもちやすく、制作活動にも意欲的に取り組めると考える。そして、手を加えることで変化しやすい紙を素材に使うことで、自分の思うように形を変えやすく、できあがるまでの期待感ももてる。また、いろいろな種類の紙を用意し、その感触を味わわせ、楽しめるようにしたい。また材料を一か所に作りやすいように置いておくのではなく、いろいろな場所に道具や材料を置いておくことで、「○○がないね」「とってきてもらおうか」「○○さんに渡して」等の言葉掛けをして、子ども同士のかかわり合いを引き出していきたいと考える。

おにぎりを使って遊ぶ場面では、教師が楽しそうに遊んで見せたり、友達がお互いにやりとりしている場面を注目させたりすることで、「楽しそうだな」「自分もやりたいな」という気持ちをもたせたい。また、子ども同士がお互いにかかわり合いながら遊ぶことで、一人よりも友達と一緒に遊んだ方が楽しいという意識を高めていく。その際、お互いにかかわり合いがもてるような適切な言葉掛けをして、子どものやりたい気持ちを引き出していきたい。

健康面においては発作のある子どもが2人いるので、健康観察を十分に行うようにしたり、活動中は安全面に十分に配慮したりしたい。また、視覚障害のある子どももいるので、制作を行う場所や教材提示の仕方には工夫をするようにしたい。

## 3 実際（別紙）

3 実際

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点及びやりたいポイント		
			A児	B児	C児
導入	9:50	1 始めのあいさつをする。	全：必要に応じてあいさつを促し，子どもの号令で授業のあいさつに応じる。		
		2 活動とめあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">おにぎりをつくってあそぼう。</div>	T 1：前時の活動を思い出し，本時のめあてを発表し，意欲をもてるようにする。 ・「手でにぎって作ったよね」等と言葉でヒントを出したり，作った紙おにぎりを実際に触らせたりして，思い出しやすいようにする。	・前時の活動の写真を見せたり，作った紙おにぎりを実際に触らせたりして思い出しやすいようにする。	・前時の活動の写真を見せたり，作った紙おにぎりを実際に触らせたり，食べるまねをして見せたりして，思い出しやすいようにする。
		3 おにぎりの歌を歌う。	全：楽しく元気な声で歌い，雰囲気を盛り上げるようにする。		
展開	9:55	4 紙でおにぎりを作る。 ・紙を握って丸める。	・丸めるのが難しいときは，手をとって一緒に丸めるようにする。 ・「上手だね」「すごいね」と言葉掛けをし，更に作る意欲を高めるようにする。 ・「〇〇さんに紙をあげようか」，「ちょうだいって言おうか。」と言言葉掛けをし，友達に呼び掛けることができるようにする。	・材料がどこにあるかを見付けさせ，友達に教えてあげるように促す。 ・「上手だね」，「すごいね」と言葉掛けをし，更に作る意欲を高めるようにする。 ・紙をいろいろな場所に置いておくようにして，「〇〇さんに渡して」「〇〇さんからもらって」等と言言葉掛けをし，やりとりができるようにする。	・友達がしているのを見るように促し，興味をもてるようにする。 ・一緒に手をとって紙おにぎりを作るようにする。 ・「上手だね」，「おいしそうだね」と言葉掛けをして，楽しい雰囲気を作るようにする。 ・友達が渡した紙を受け取り，それを使っておにぎりを作り，できた物を友達に渡すようにする。
		10:10	5 できたおにぎりでもまごとをする。	全：できあがったおにぎりを友達と交換し合いながらままごとができるようにする。	
			★友達に自分からおにぎりを渡したり，友達に「どうぞ」，「ちょうだい」と言ったりして遊ぶことができる。 ・「おいしそうだから〇〇さんにあげようか。」など，自分から友達に渡したいという気持ちを引き出すような言葉掛けをする。 ・「〇〇さんちょうだい」「〇〇さんどうぞ」と言葉を掛けるように促す。	★友達におにぎりを渡したり，受け取ったりして遊ぶことができる。 ・紙皿に顔写真を貼っておき，友達へおにぎりをあげたいという気持ちを高める。 ・「〇〇さんに渡して」，「〇〇さんからもらって」等と言言葉掛けをし，おにぎりのやりとりができるようにする。	★自分から友達に近寄って行って，おにぎりをもらったり受け取ったりして遊ぶことができる。 ・教師がおもしろい声を出しながら，A児やB児とおにぎりを食べるまねをして見せる。 ・おにぎり交換では教師と一緒に手をとって，友達に渡したり受け取ったりして遊ぶようにする。
			T 1：友達とおにぎりのやりとりができたら賞賛し，さらに一緒に遊びたいという意欲を高める。		
終末	10:25	6 片付けをする。	全：片付けができるように促す。		
		7 次時の学習内容を聞く。	T 1：次時は友達と一緒に作ったおにぎりを持って校内ピクニックをすることを伝え，期待感をもたせる。		
	10:35	8 終わりのあいさつをする。	全：必要に応じてあいさつを促し，子どもの号令で授業のあいさつに応じる。		

全体への働き掛け

やりたいポイント及び教師のかかわり

#### 4 評価

##### (1) 全体評価

- ・ ままごとをする中で、友達や教師とかかわり合いながら楽しく遊ぶことができたか。

##### (2) 個人評価

- A児：自分から積極的に友達に話し掛けたり、紙おにぎりを渡したりして、楽しく遊ぶことができたか。
- B児：友達に紙おにぎりを渡したり、受け取ったりして、楽しく遊ぶことができたか。
- C児：自分から友達のところへ近付いてきて、教師と一緒にままごとに参加することができたか。

#### 5 場の設定

